学校番号	1203

令和８年度　家庭科

教科	家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	保育基礎「ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ」　（教育図書）						
副教材等	保育基礎　ワークノート　　(教育図書)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの発達と保育について関心を持ち、理解を深め、知識を身につけましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけよう。
・１年間を通して、講義での授業の他、実習、実験、グループワーク等さまざまな形式での授業を行います。日々の授業を大切にしましょう。
・提出物は期限を守り、教科書・ノート・ファイルの他、指示された道具類等の忘れ物がないようにし、ルールはしっかり守りましょう。

2　学習の到達目標

保育の意義を理解し、現代の子育てとその課題を理解させ、問題解決能力と態度を育てる。
【知識及び技能】
・保育の意義や方法、子供の発達や生活の特徴及び子供の福祉と文化などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
・子供を取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
【学びに向かう力、人間力等】
・子供の健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	・子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識や技術を身につけている。	・子どもの発達や子育て支援について関心を持ち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度が身についている。	・子どもを生み育てることや家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	子どもの発達の特性	生涯発達における 乳幼児期の重要性 発達と環境 名札製作	a:乳幼児期の重要性を知り、自分自身を含む家族・家庭や社会との関わりについて理解を深めている。 b:人の一生をライフサイクルとして捉え、人との関わりがいかに大切かを考え、課題を見いだし、解決する力を身につけている。 c:子どもを取り巻く環境には様々なシステムがあることを知り、その関わりの大切さと課題について主体的に取り組み、自分や家庭の充実向上を図るために実践しようとしている。	ワーク ノート 製作物	実習 記録表 製作物	授業観察 振り返り シート
	子ど	身体発育と運動機能の発達 乳幼児期のからだの発育 保育実習	a:乳幼児の生理的特徴が成人と大きく異なることや、発達の共通性と個別性について具体的に理解している。 b:乳幼児期の基本的情緒の形成には、愛情で結ばれた親と子の絆が重要であるという認識を深めている。	ワーク ノート レポート	ワーク ノート 実習 記録表	授業観察 実習記録表

	もの発達過程		c:乳幼児の運動機能について、自分自身の子ども時代のことを調べるなどして、具体的に考える姿勢を持っている。			
2学期	子どもの生活	子どもの健康と生活 おもちゃ製作実習 子どもの食事 保育実習	a:乳幼児期の食生活の特徴を把握し、子どもの用語の必要性と目的について理解している。 b:食事が生活習慣の形成や心の発達に及ぼす影響を認識している。 c:子どもの生活を学ぶ中で、様々な課題や問題点を考えようという態度が見られる。	ワーク ノート 製作物	実習 記録表 製作物	授業観察 実習記録表
	子どもの生活	子どもの遊びと生活 おもちゃ製作実習 子どもの健康管理 調理実習	a:さまざまな児童文化財のなかから、子どもの発達段階にふさわしいものを選択することができる。子どもの健康状態の観察のポイントを理解している。 b:子ども自身の表現活動を活発にするために何が必要か、という見方ができる。 c:保育者としてどのように関わるのがよいか、理想像を考えながら学習する姿勢を持っている。	ワーク ノート 製作物	実習 記録表 製作物	授業観察 実習記録表
3学期	子どもの	子どもの遊びと生活 子どもの健康管理 調理実習	a:保育者としての具体的な援助の方法を説明することができる。家庭保育と集団保育の役割を理解している。 b:年齢に応じた保育者の関わりを考えることができる。 c:保育の意義について、自分自身が親になることを考えるなど、自分の問題として捉える態度が見られる。	ワーク ノート 製作物	実習 記録表 製作物	授業観察 実習記録表

	保 育					

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度